



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して 発見! 身近な自然



いつもいきもの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いた
しております。紙面の都合上
全部をご紹介できないこと
をお許しください。みなさんが
発見したいいきものや自然情報
をご紹介します!みなさんは
どんな発見をしましたか?
ふりかえてみましょう!

紙面をリニューアル
しました!!



近年、都市部でもよく見られます。
これは、食べ物となる小鳥類が多
く、天敵が少ないこと、ビルや橋
などがねぐらや繁殖場になり、暮
らしやすいからとされています。

主に小型の鳥類を食べる
肉食性のツミ。都市部の
緑化などにより、都会でも
見られるようになりました。



ツミ (タカ科)

4月3日 17時頃、梅の木に捕食している小型猛禽類を見つけました。(中目黒5丁目通信員)

チョウゲンボウ (ハヤブサ科)

3月20日 ビルのベランダにメスのチョウゲンボウがいるのを発見。(自然通信員)

2018 みんなの発見

今年は5月25日までに237件の情報
が寄せられました。もっとも多かった
のは鳥類で、39種145件でした。

日本で繁殖する最大のサギです。水辺で
魚類や昆虫などの食
べ物をさがして食べ
ているため、水辺の
ある公園や船入場で
目撃されていました。

アオサギ (サギ科)

1月7日 公園にて15:00頃に
目撃。(自然通信員)

羽のあざやかなり色の模様
が特徴。花ではなく、雑木
林の樹液や動物のフンなど
にやってきて水分を吸います。



ルリタテハ (タテハチョウ科)

4月12日 庭で羽化したばかりで、うまく飛べ
ない様子でした。(中町1丁目通信員)

2月下旬から3月末の産卵の時期と4月末
からの目撃情報が多数ありました。日本
には、東日本にアズマヒキガエル、西日
本にニホンヒキガエルの2つの亜種系統が
生息していましたが、近年交雑が進み、
見分けることが難しくなっています。

夜行性で、夜は明
かりに寄ってきた虫
を求めて家の周りな
どにやってきます。



ヤモリ (ヤモリ科)

3月4日 もうヤモリが活動開始で驚き
です。(五本木1丁目通信員)

鳥にとって日光浴は体温調
節、皮ふや骨の健康を保つ
のに役立つとされています。



キジバト (ハト科)

3月 キジバトはいつも来て、水浴びも
大好きです。(東が丘1丁目通信員)

春から秋にかけ
ては、夜行性な
ので、夜になる
と食べ物を求め
て出てきます。



ヒキガエル (ヒキガエル科)

3月1日 今年初めて鳴き声を確認。
(洗足2丁目通信員)

いきもの情報募集中!

2018年は「クモ」をテーマに身の回りのいきものを調べてみましょう。見つけたら、下記の記録票に記入し、みどりの係までお送りください。

初夏になると、メスは成熟し、腹部は黄色と黒のしま模様になるよ。



ほぼ円形のクモの巣を張ります。

メス
コガネグモ
(クモ目コガネグモ科)
出現期：6～10月

クモをさがしてみよう!

クモ類は日本に1000種ほどいます。よくさがしてみると、身近なところで見つけることができるよ。見分けやすい大型のコガネグモとジョロウグモをさがしてみよう!

クモの巣を張らないクモもいる?!

クモはみんなクモの巣を張るわけではありません。造網性・徘徊性・地中性の3つのタイプがあります。

- 造網性のクモ** 網を張って獲物を捕える。クモ類の約半数がこのタイプ。
- 徘徊性のクモ** 獲物に走り寄ったり、待ち伏せて獲物を捕える。
- 地中性のクモ** 地面に穴を掘って袋状の巣をつくる。巣に獲物が触れると、噛みついて捕える。

秋に成熟し、メスの腹部は黄色と青緑色のしま模様で、下側が紅色になるのが特徴だよ。



メス

ジョロウグモ

(クモ目ジョロウグモ科)
出現期：8～11月
夏から秋にかけて馬の蹄の形のような蹄形円ひづめのクモの巣を張ります。

さわると、丸くなるよ



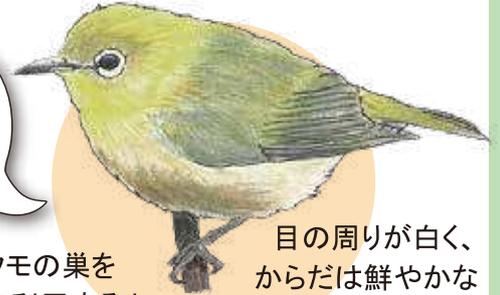
オカダンゴムシ

(ワラジムシ目オカダンゴムシ科)
出現期：3～11月

クモ以外でも脚の数が多い身近ないきものの1種だよ。

クモとかがわりの深いいきものをさがそう!

クモが利用したり、クモを利用するいきものやクモと同じような特徴をもったいきものがいますよ。さがしてみよう!



メジロはクモの巣を巣材として利用するよ。

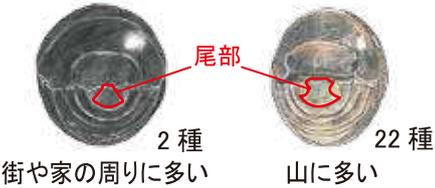
メジロ

(スズメ目メジロ科)
出現期：一年中

ダンゴムシは日本に3科25種!

ダンゴムシは街や山、海などいろいろなところに生息しています。

尾部の形で見分けてみよう!



2種 街や家の周りに多い
22種 山に多い
オカダンゴムシ科 **コシビロダンゴムシ科**

砂浜の海岸にはオカダンゴムシより大きなハマダンゴムシ(1種)がいるよ!

葉や茎はさわるとザラザラしているよ!



セイトカアワダチソウ

(キク科アキノキリンソウ属)
花期：10～11月

秋に花が咲きます。よく見ると、黄色い小さな花がたくさん集まっているよ。

セイトカアワダチソウとクモ

セイトカアワダチソウは繁殖力が強く、大きな群落を作ります。また、花も目立ち、背も1～2mと高くなり、たくさんの昆虫がやってきます。クモにとっても獲物が豊富なセイトカアワダチソウは暮らしやすい環境なのです。セイトカアワダチソウを見つけたら、クモもさがしてみよう。

上記5種以外のいきもの情報もお待ちしています!



記録票

自然通信員番号:

お名前:

見つけたいきものの種名	いつ(年・月・日)	どこで(公園名。ご自宅は『庭』とだけ、緑道・川は町名と番地まで記入します)	観察した内容(数や様子など)、いきものたちへのメッセージ

◆観察情報や写真は郵便・FAX・メールでみどりの係までお送りください。みなさんからの情報をお待ちしております!

ちょうど良い気候のもと、魚類研究者 君塚 芳輝氏の指導で開催されました。85名の方にご参加いただき、アユやボラなど合計10種のいきものを発見しました。



見つけたいきものを
絵に書いてもらいました。



アユ

発見したいきもの

- ・アユ (42尾)
- ・マハゼ (10尾)
- ・スミウキゴリ (70尾)
- ・ボラ (51尾)
- ・ビリンゴ (2尾)
- ・マルタ (25尾)
- ・モクズガニ (1個体)
- ・アメリカザリガニ (1個体)
- ・ミシシippアカミミガメ (6個体)
- ・クサガメ (3個体)



歩もう 野の鳥の歌が聞こえるまち 計画紹介その9

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため平成26年4月から推進している『ささえあう^{いのちの}生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画 (目黒区生物多様性地域戦略)』のポイントを紹介します。

生物多様性ってナニ？

多様な生物とそのつながりを「生物多様性」と言います。多様な生物が複雑に影響しあって豊かな生態系が保たれている時、生物多様性の良好な姿と言えます。

私たちの暮らしは、この生物多様性があるからこそ。例えば、私たちの食べる野菜や果物の中には、昆虫などによって花粉が運ばれないと、実ができないものもあります。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化などは自然の恵みによって支えられています。こうした恵みを「生態系サービス」といい、生物多様性のバランスの上で成り立っています。だからこそ、生物多様性が重要なのです。

なぜ生物多様性が大切なの？

たくさんのいきものがつながりあっているから、たとえいきものが1種でもいなくなると、生態系のバランスがくずれてしまうんだ。人間の活動によってこうした状況が各地でおこっているんだ。

身近な自然を守り、人間といきもののが共に暮らせるまちづくりで、このまちの生物多様性も守っていききたいね！



◆定点観測員になりませんか？

公園や自宅のお庭など身近な場所を観測地として決めていただき、桜の開花やチョウやセミ、ツバメなどを初めて見たり声を聞いたりした日など、四季の変化を継続的に観察していただける方を、『定点観測員』として募集しています。定点観測員にご登録いただいた方には目黒区いきもの住民台帳を送付いたします。定点観測員に登録したい、興味がある方はみどりの係までご連絡ください。自然通信員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

2018年7月25日発行

目黒区みどりと公園課みどりの係
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15
TEL: 03-5722-9355
FAX: 03-3792-2112
メール: sizen@city.meguro.tokyo.jp
【作成】(株)自然教育研究センター

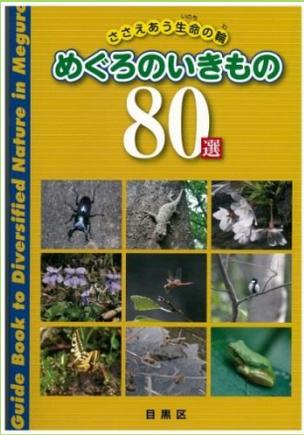
大好評発売中！

いきもの観察や散策のおともにいかがですか？ 目黒区のみどりといきものガイドブック！



めぐろのいきもの80選

みどりの散歩道コースガイド

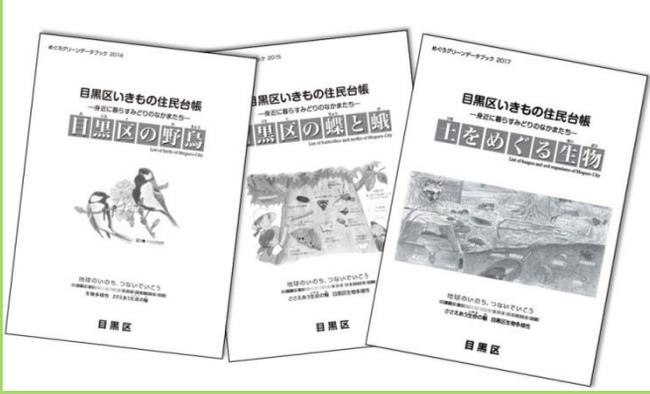


『めぐろのいきもの80選』(1冊 400円)は、区民投票で選ばれたいきもの80種のほか、区内で見られる野草、野鳥、昆虫などを合わせて、300種以上のいきものを写真で紹介し、お子様でも楽しむことができます。写真は区民の方から頂いた写真が中心で、いきものたちのいきいきとした姿が簡潔な解説とともに掲載されています。

『みどりの散歩道コースガイド』(9コース1セット 300円)は、季節の花や木などの身近な自然や歴史を楽しみながら散策できる区内9コースのガイドブックです。2017年4月に内容を刷新しました。新たに目黒天空庭園などの施設、散歩道の花めぐりなどのコラムを追加し、これまでより目黒の魅力を楽しめる内容となっています。

目黒区総合庁舎1階区政情報コーナー、6階みどりと公園課みどりの係、駒場野公園自然観察舎、中目黒公園花とみどりの学習館、目黒区書店組合加盟の書店9店舗などで販売しています。

めぐろグリーンデータブック目黒区いきもの住民台帳 『目黒区の野鳥』『目黒区の蝶と蛾』『土をめぐる生物』



『目黒区いきもの住民台帳』は自然通信員や、区などの行った専門調査の結果を、目黒区に生息・生育するいきものの種名リストとして集計したもので、2009年におよそ3000種類の動植物や菌類を掲載した暫定版を公開しています。『目黒区の野鳥』『目黒区の蝶と蛾』『土をめぐる生物』は、その後の観察情報などを含めて整理集計したリストや、それぞれのいきもの専門家による寄稿文を掲載しています。

目黒区総合庁舎1階区政情報コーナーにて1冊300円で販売しています。また、区立図書館や目黒区ホームページでも内容をご覧いただけます。

目黒区は区民の皆さまと共に、『目黒区生物多様性地域戦略 ささえあういのち 生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画』を推進しています。

問い合わせ先
目黒区みどりと公園課みどりの係
TEL: 03-5722-9359
FAX: 03-3792-2112
メール: sizen@city.meguro.tokyo.jp